京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市動物園の運営について

京都市動物園は、市民の皆様の寄付金と市費によって明治３６年４月に開園した全国で２番目に歴史のある動物園であり、年間約７４万人の方々にご来園いただいています。

動物園の主な取組（概要）

○　動物の種の保存・展示

キリンやゾウ、サルやペンギンなど約１０８種、約５００点の動物を飼育・展示しています。希少野生動物の繁殖にも積極的に取り組み、日本で唯一ニシゴリラの３世代飼育に成功しています。

○　教育普及事業

園内ガイドや教育プログラム、動物の生態や種の保全、ＳＤＧｓの推進等に関する講演等を実施しています。

○　研究事業

「生きもの・学び・研究センター」を中心に学習・啓発イベントや書籍・論文等の研究成果の発表を行っています。

施設運営に関する支出・収入（概数）

入園者１人当たりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は９０４円（総額6.7億円）、入園料などの収入は４５６円（総額3.4億円）です。この他、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

＜支出：９０４円（総額6.7億円）＞

改札委託、清掃費等 146円	光熱水費、動物のエサ代 222円	職員人件費 507円	維持改修費 29円

＜収入：４５６円（総額3.4億円）＞

寄付金等 60円	入園料等 396円	差額448円 ←→ 市民の皆様からの税金を活用

［京都市文化市民局動物園　７７１－０２１０］